

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)  
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。  
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2026年 5月 18日
研究終了日	2029年 3月 31日 まで
研究の名称	累積内視鏡摘除ポリープ30個以上の症例におけるサーベイランス中のTis-T1大腸癌： 大腸温存および予後の検討
研究対象	当院で実施された大腸内視鏡検査(colonoscopy:CS)61,243件、60,304人を対象とし観察期間中の累積大腸ポリープ摘除数が30個以上であった患者さんを対象としております。
対象材料	診療記録
対象期間	2009年1月から2025年9月まで
研究の目的意義	多数の大腸ポリープ治療歴を有している患者さんでは、その後の他臓器癌を含む大腸癌リスクも高いが、その後の臨床経過については未だよくわかっておりません。大腸内視鏡検査による経過観察がその後の大腸癌発生状況、治療成績、大腸温存、および生命予後への影響を調査します。
方法	2009年1月～2025年9月に当院で実施されたCS61,243件のうち、累積ポリープ摘除数が30個以上の54例(計512件のCS)をデータベースより抽出。主要評価項目は観察期間中の大腸温存(大腸切除を回避)とし、副次評価として新規CRC発生(既往、同時、追跡中)、手術の要否と時期、他臓器癌、生存予後を調査し、サーベイランス強度はCSの回数および間隔で評価します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報、電子カルテ内のみで安全に管理しており、個人情報が外部に流出することはない、研究結果から個人が特定されることもありません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器内科 西田 勉 〒560-8565 大阪府豊中市柴原町4-14-1 TEL:06-6843-0101